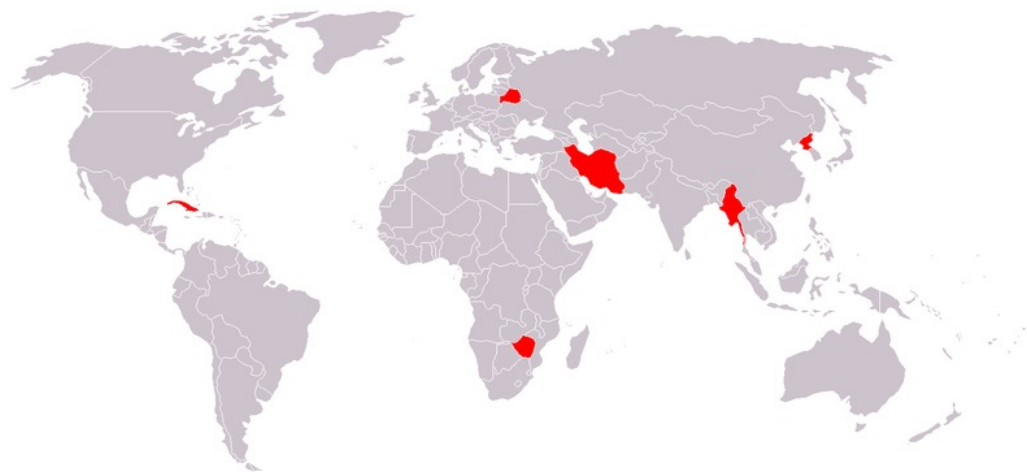


# ミャンマーと北朝鮮

京都大学・中西嘉宏

# パーリア国家トモダチ？

- 北朝鮮とミャンマー
- 圧政の拠点：キューバ、ミャンマー、北朝鮮、イラン、ベラルーシ、ジンバブエ（2005）
- 「悪の枢軸」になれない「二流」扱い
- 国際秩序や経済への影響度
- アジアの独裁国家コンビ
  - いつも崩壊の話が出るけど
  - 崩壊しない
- 政変後のミャンマー軍政と北朝鮮は？



# こんにちは北朝鮮



- 起伏に富んだ外交関係
- 朝鮮戦争時には国連安保理決議第84号に従い、北朝鮮に対抗する国連軍の派遣を支持
- 1962年軍事クーデターで軍主導の社会主義化により、親密化
- 朝鮮労働党第6回党大会（1980）に支配政党の代表団ともに出席
- 1975年に韓国と国交樹立
- 米国とは「デリケートな関係」

# さよなら北朝鮮

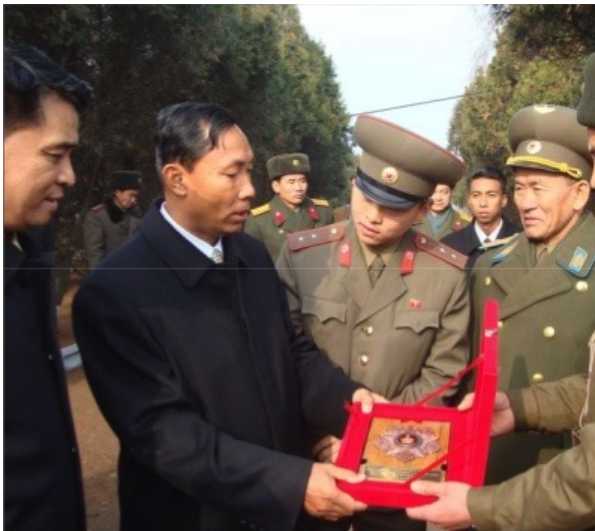
- 1983年ラングーン爆破事件  
အာဇာနည်ကုန်း ဗုံးပေါက်ကွဲမှု
- 韓国全斗煥大統領のミャンマー公式訪問
- 1983年10月9日の朝、アウンサン廟で爆発  
全斗煥大統領は遅れたため無事  
韓国側副首相ら17名が死亡  
ミャンマー側4名死亡  
北朝鮮工作員2名逮捕、1名死亡
- 北朝鮮は関与否定もミャンマーが国交断絶



မြောက်ကိုရီးယားလုပ်ကြံသတ်ဖြတ်ရေးအဖွဲ့ခေါင်းဆောင်ကို အရှင်ခမ်းပေးခဲ့သည့် ခေါ်ခန်းရိုက ငှင်းရန်ထားသည့် ဂုဏ်ဖြူလက်မှတ်အား ဖြသနေစဉ်၊ ဓာတ်ပုံ  
-ဖော်စ် တစ်စိန်နာ

Frontier Myanmar  
(<https://www.frontiermyanmar.net/mm/မြောက်ကိုရီးယား-လုပ်ကြံ/>)

# こんにちは北朝鮮（再び）



シュエマンの北朝鮮訪問（2008年）

Democratic Voice of Burma  
(<https://english.dvb.no/burmas-vp-meets-n-korean-envoy-in-naypyidaw-burma-myanmar/>)

- 北朝鮮：1990年前半の深刻な食糧不足
- ミャンマー：1988年のクーデターで孤立気味ななか  
軍近代化の必要性  
→ コメ、ゴム、木材などと兵器・軍事技術のバー  
ター取引
- 北朝鮮：2000年代核開発再開
- ミャンマー：2003年に米国の制裁拡大  
→ 2007年に国交回復し、中距離弾道ミサイル開発や  
軍事上トンネル技術に関するMoU締結  
→ 核開発疑惑も

# さよなら北朝鮮（再び）

- 2011年民政移管
  - 米国に制裁に屈したというよりも、軍の指導者交代による変化
- テインセインによる米国の制裁解除の動き
  - Asian Pivot
  - 中国の水カダムプロジェクトの停止
  - 政治囚の解放
  - 北朝鮮への制裁（安保理決議1718号、1784号）遵守約束



# さようなら北朝鮮（再び）

## PRESS RELEASES

### Treasury Designates Burmese Companies and an Individual with Ties to the Directorate of Defense Industries

December 17, 2013

(Archived Content)

*Second Action Targeting North Korean Military Ties to Burma This Year*

**WASHINGTON** – The U.S. Department of the Treasury today designated Burmese companies Asia Metal Company Ltd., Soe Min Htike Co. Ltd., and Excellence Mineral Manufacturing Co. Ltd. pursuant to Executive Order (E.O.) 13619, which targets those involved in arms trading between North Korea and Burma. Treasury also designated Lt. Colonel Kyaw Nyunt Oo, a Burmese military Staff Officer acting on behalf of the Burmese Directorate of Defense Industries (DDI), which was designated pursuant to E.O. 13619 in July 2012. These actions continue Treasury's efforts to target those linked to DDI, which has been involved in purchasing military equipment and related materiel from North Korea.

- 軍同士の関係は続く。2012年にミャンマー国防省防衛産業局（DDI）が北朝鮮と技術協力理由に米国SDNリストに入り

高強度アルミニウムが北朝鮮からミャンマーへ

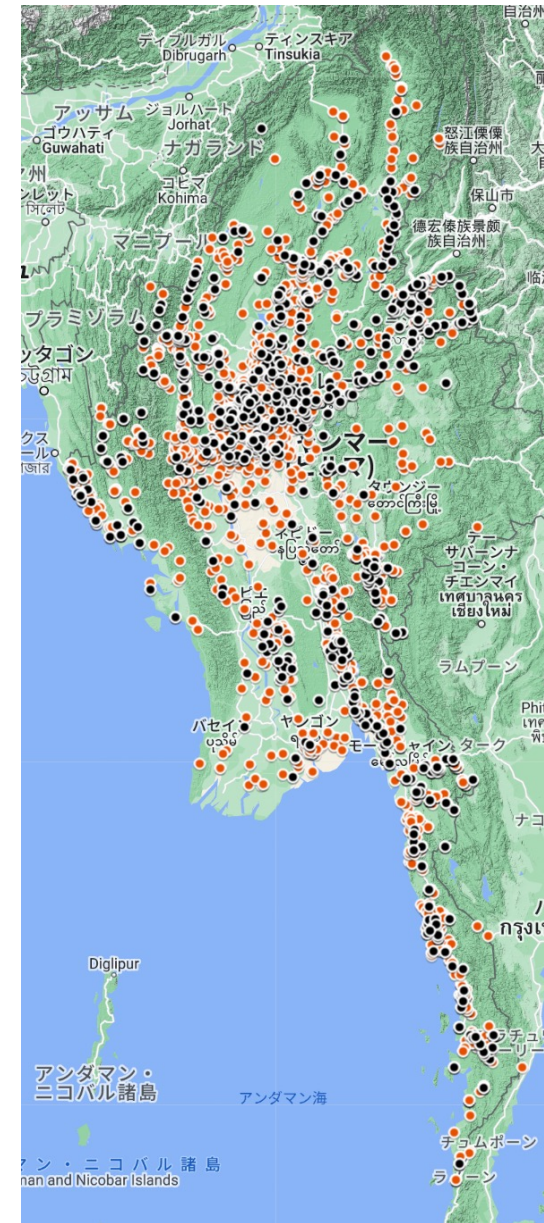
北朝鮮人労働者がDDIで勤務

- スーチー政権下でTPNW署名、2018年には北朝鮮大使を送還

国連安保理専門家パネルには2016年10月から軍同士の関係はないと回答

# こんにちは北朝鮮（またまた?）

- 孤立したなかで結びついた両国関係が再び分離
- 2021年2月1日クーデター後  
市民の抵抗から紛争拡大へ  
外交的圧力：制裁、正義、規制  
関与外交も効果薄
- 不安定な軍事政権が続きそう  
少数民族地域と北部が実効統治できない  
USドル不足、兵力・兵器不足、正統性不足  
→再び両国関係が活発化するか？





# こんにちは北朝鮮（またまた?）



- 1990年代、2000年代との異同

## 【似ている点】

両国ともに国際的な「孤立」

民主化運動に欧米の介入をみる軍政

ミの兵器不足と調達先の多元化、北の食糧難(?)

## 【異なる点】

不安定な軍事政権で軍事、経済ともに余裕なし

海路のリスクと監視網

過去の教訓：関係改善の限定的効果

→核開発などは過大評価、貿易もわずか

# むすび

- 大きく変化してきた外交関係
- 兵器開発能力、地政学的な位置、脅威認識、体制の強靱性いずれも違う
- ミャンマー軍は周辺国およびロシアとの関係強化が最優先  
無理やりでも総選挙したいけど、できない  
抵抗する諸勢力による「革命」も困難→泥沼化
- 中長期的に技術強力や交流が再び活発化する可能性  
「悪」のネットワークについてのイメージと実態  
「弱さ」への国際社会の対応をどうするか

ご清聴ありがとうございました